



ふよう

学校だより No. 52

静岡大学教育学部附属特別支援学校

平成 28 年 2 月 26 日

学校だよりのタイトルになっている「ふよう」をつけた『ふようまつり』が2月6日土曜日に行われました。「ふよう」とは、本校が平成19年に附属養護学校から附属特別支援学校へ校名を変更しましたが、それまでの附属養護の通称です。つまり、「ふよう」とは、この学校に受け継がれている親しみのある言葉です。心のふるさとでもある母校の行事を楽しみにしている卒業生も多く、「ふよう」という言葉は大切に守り続けていこうと決め、年に一度の学校祭も「ふようまつり」として開催しています。

さて、「ふようまつり」は、第1部が体育館でのステージ発表、第2部が作業製品販売などの模擬店の2部構成になっています。各学部の様子は、裏面に紹介していますので、ここでは、この「ふようまつり」が、多くの方に支えられていることについてお伝えします。

まずは、ステージ発表の幕間に、外部の2団体が参加してくださいました。

「ぐるーぱ*ai*・愛」の皆さんは、おなじみの「さんぽ」や「鬼のパンツ」などの演奏を披露してください、会場みんなで楽しく歌うことができました。和やかな温かなひとときでした。



「静岡大学吹奏楽団」は「木管五重奏」の演奏でした。素敵な音色が響きわたり、うっとり心が癒されました。まるで体育館がコンサートホールになったようでした。



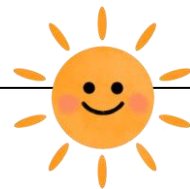
午後の模擬店は、PTAのバザーに加えて、福祉サービス事業所や企業等10団体の出店がありました。美味しいパン、野菜、手作り製品等の販売やコーヒーのテイスティングなど盛りだくさんのお店が立ち並び、どれも盛況でした。



また、静岡城北高校の生徒14人が、高等部の生徒との交流として、ステージ発表や作業製品販売に参加しました。特にステージ発表では、12月から放課後の時間を使ってこつこつと練習を重ね、その成果を見事に発表することができました。まさに青春！大切なつながりができました。

来場者が300人近くあり、「ふようまつり」を支えてくださいました多くの皆様に心から感謝申し上げます。(副校長 上村一成)

小学部



えがお！げんき！なかよし！みんなのきらきら太陽！

小学部みんなの「笑顔、元気、仲よし」パワーで、ステージにきらきら太陽を輝かせました。「にこにこダンス」「元気いっぱい組体操」「なかよしリズム」そして最後は、自分たちで歌詞の一部を考えた「世界中の子どもたちが〜ふようまつり小学部バージョン〜」を声を合わせて歌い、会場全体にすてきな歌声が広がりました。



〈ニコニコダンス〉



〈元気いっぱい組体操〉



〈なかよしリズム〉



〈歌「世界中の子どもたちが♪」〉

中学部

みんなを笑顔に！フゾク大爆笑！

「もしも、昔話の英雄たちが、かぐや姫に求婚したら…」をテーマに、劇を通して、見に来てくれた全員に笑顔をお届けしました。セリフや動きなどの演じる練習に加え、背景や小道具などの劇に必要な物の準備も自分たちで行いました。笑いが起きるように工夫された内容は、観客全員を爆笑の渦に巻き込んでいました！

浦島太郎グループ



こきりこ節で、おもてなし

桃太郎グループ



「YMCA」、「ひげダンス」「RPG」でダンスバトル！

金太郎グループ



相撲にギャグを盛り込んだ痛快バトル！



月の使者が登場！果たして姫と英雄たちの行方は…



高学部

想い〜仲間と共に〜

高等部の仲間や今まで支えてくれたすべての方々への感謝の気持ちや、夢に向かって挑戦する姿を、ダンス・群読・ストンプパフォーマンス・合唱で表現しました。静岡城北高校の生徒と一緒に練習し、交流を深めながら演じたステージはとても盛り上がりました！



ダンス
RYUSEI

1年生ステージ
群読



2, 3年生ステージ
ハッピーパーティー
〜ストンプパフォーマンス〜



合唱
「ハナミズキ」

この学校だよりは、地域、近隣校、附属校にも配布しております。